

令和6(2024)年度のEPO業務 実施報告資料

2025年2月12日

第2回 EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会

主催イベント業務

本年度業務における支援・連携の対象について

a) 環境省事業(共生圏事業)の選定団体

※①: 中間支援主体、②: 活動団体

- PF丹南(福井県丹南エリア): ①ローカルSDクリエイション、②エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま
- PF長野(長野県長野市芋井地区): ①長野県NPOセンター、②芋井地区住民自治協議会
- PF半田(愛知県半田市): ①半田市、②半田市地域循環共生圏推進協議会

【選定団体への支援に加えて】

- i. 6月に、中部ブロックのキックオフ会合を開催
- ii. 10月に、中間共有会(取組報告会)を開催
- iii. 過年度採択団体の取組状況の把握(ヒアリング実施)

b) 自治体及び協働コーディネーターとの連携事業

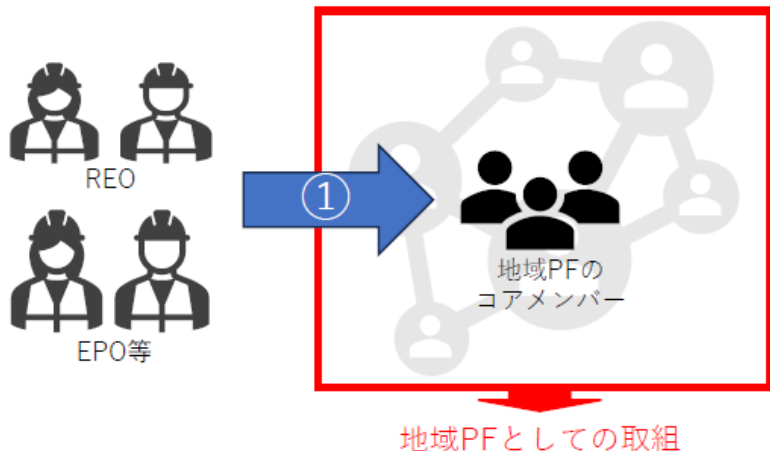
- 地域循環共生圏づくり支援セミナー等の開催(1回)
- 富山県内の協働コーディネーター2名との連携による「地域循環共生圏フォーラム」を富山県上市町で開催(計2回)
 - 連携コーディネーター:(株)ティー・ツリー・コミュニケーションズの茶木氏、PEGとやまの堺氏
- 協働コーディネーターとの意見交換会の実施(1回)
- 地域循環共生圏づくりの活動評価手法の検討: 有識者による検討WKGの実施(計3回)
 - 成果冊子とりまとめ

c) その他/企画: 中部事務所、運営: EPO

- 身近な自然資本活用に関する意見交換会等の実施(計2回)
 - 自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップ促進のための意見交換会やワークショップ等の開催
- グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進会合の実施(計4回)
 - ヒト・モノ・カネ・情報をつなぐ場の開催と、地域内の対話の促進により、地域循環共生圏のドミノを地域に波及させる意見交換会やワークショップ等の開催

地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の新しい枠組み

共生圏PF事業 (R1~R5)

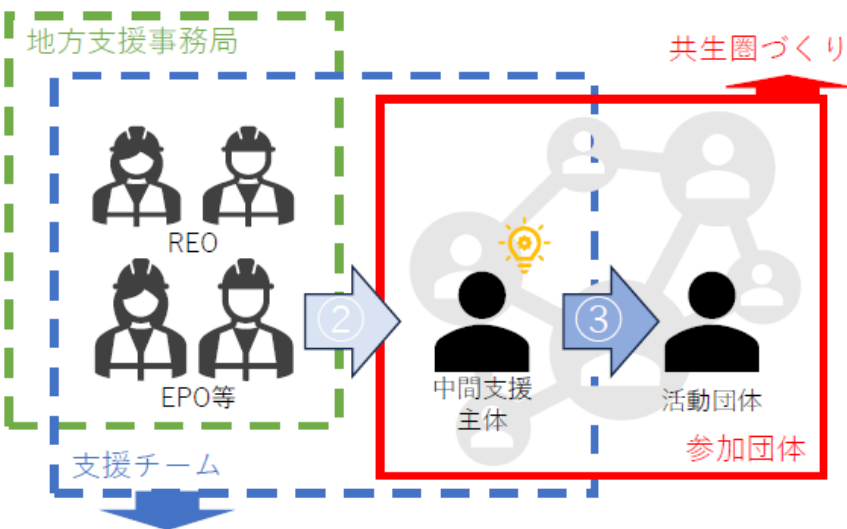


※昨年度まで:活動団体のみを選定。

・ EPO等による支援の対象は地域プラットフォームのコアメンバー（≒採択団体の担当者+α）が基本。

・ 個別事業評価の観点「自立した地域が立ち上がったかどうか」であり、具体的には地域PFの取組が継続しているかどうか、具体的なローカルSDGs事業を生み出したかどうか、地域PFを立ち上げるプロセスに多様な主体が関わったかどうか、などを指標としている。

支援体制構築事業 (R6~R10)



※今年度から:活動団体とその支援にあたる中間支援主体がセットで応募する/選定される事業に。

・ 中間支援主体による支援 (③) 能力の形成を地方支援事務局は支援 (②) する。

・ 3者 (REO・EPO等・中間支援主体) で活動団体への支援の準備MTG (見立て・打ち手の検討)
⇒ 4者 (REO・EPO等・中間支援主体・活動団体) のMTG※ (打ち手の実行) を繰り返す
→ そのプロセスをREO・EPO等で振り返る
※4者MTGの実施や、活動団体との関わり方は、各地方や各団体のフェーズで必要に応じて。

・ 個別事業評価の観点は「自立した地域が立ち上がったかどうか」に加え、「中間支援主体が共生圏づくり (地域PF構築) の支援ができるようになったかどうか」。

中間支援主体の能力形成

- 中間支援主体の育成・展開が目的
- 地方支援事務局の支援の中心は中間支援主体

2024年度EPO中部主催イベント／会合案

※1:参加者数:環境省・EPO除く

	実施地	設営	時期	参加※1	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等	
①中間支援セミナー	愛知県名古屋市	オンライン/アーカイブ	1月27日	ライブ時点27人 継続配信	地域循環共生圏づくり支援セミナー(2024年度:入門編)	<ul style="list-style-type: none"> 地域循環共生圏づくりとは…NPO持続可能な社会をつくる元気ネット・鬼沢先生 地域経済循環分析・指標分析ツール…価値総研 登壇者×④WKGメンバーによるトークセッション→成果冊子 	
②地域主体共催フォーラム(2回)	富山県上市町	リアル	12月7日	28人	地域循環共生圏フォーラムin上市町 みんなで描く!“つながる” “めぐる” 上市町(全2回)	<ul style="list-style-type: none"> 富山県の協働コーディネーターお二人による連携企画 ▶ 堺氏(PECとやま)、茶木氏(株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ) 第1回:ワークショップ編、第2回:発表&ディスカッション編 	
		リアル	2月22日	未			
③協働コーディネータ意見交換会	愛知県名古屋市	リアル	8月28日	9人 closed	地域循環共生圏づくりにおける「中間支援」機能とは?活動現場の課題感とは?	<ul style="list-style-type: none"> 既存の協働コーディネーター 話題提供:中部事務所、(共生圏事業)丹南・長野、(EPO共催共生圏フォーラム)ネクストステップ研究会 など 	
④活動評価手法検討WKG(全3回)	富山県富山市	リアル	6月5日	※2 closed	第6期評価手法実績共有、第7期検討計画策定	※2:検討会設置(メンバー:古澤氏、水上氏、堺氏)	
	EPO中部	リアル	9月18日		評価実績を活用した事例検討(2事例)	協働コーディネーターや地域循環共生圏事業等を中心に対象事例を選定	
	福井県坂井市	リアル	11月12日		事例フィードバックの検討と課題抽出	課題抽出を踏まえDX導入のための専門家オブザーバー参加を検討	
共生圏事業	⑤キックオフ会合	愛知県名古屋市	ハイブリッド	6月26日	19人 closed	地域循環共生圏事業の「活動団体」を対象にした中部ブロックのキックオフミーティング	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体による活動計画等の発表 ステークホルダー整理作業ワークショップ
	⑥中間報告会	長野県長野市	リアル	10月23-24日	25人 closed	地域循環共生圏事業の「活動団体」を対象にした中間共有会&エクスカーシオン	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体による中間報告発表、先輩団体(小布施)の取組紹介 誉め合いワークショップ 長野市芋井地区の活動関連施設等の視察エクスカーシオン
⑦全国EPO連絡会	富山県富山市	リアル	10月1日-3日	closed	EPO中部が企画・運営: 10/2昼食、午後:エクスカーシオン① 10/3全日:エクスカーシオン②	<ul style="list-style-type: none"> 昼食:協働コーディネーター企画の上市町食材のオリジナル弁当 エクスカーシオン①:運営委員企画による「ブラとやま」 エクスカーシオン②:協働コーディネーター企画・案内で南砺市視察 	

①地域循環共生圏づくり支援セミナー（2024年度：入門編）

堺委員、水上委員
が登壇


- 1月27日にオンラインセミナー「地域循環共生圏づくり支援セミナー2024」を開催・配信。
- 前半プログラムは、NPO持続可能な社会をつくる元気ネット・鬼沢良子先生（地域循環共生圏事業有識者会議座長）の講演、環境省が公開している地域経済循環分析・指標分析ツールの紹介（価値総研）。後半プログラムは、前半講師と④活動評価手法検討WKGメンバーによるトークセッションを実施。
- ライブ配信での参加者は、zoom参加・YouTube自由視聴合わせて27人。
- 動画はアーカイブ公開中 (<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/27663html>)、さらに後半「トークセッション」は冊子にし、取組主体に活用いただく“ツール”として公開予定。
- 2024年度は〈地域循環共生圏づくり入門編(仮)〉と位置づけており、次年度以降は下記コンセプトのセミナー展開を想定。
 - 2025年度：中間支援に焦点をあてた中級編(仮)
 - 2026年度：総括編(仮)

地域循環共生圏づくり支援セミナー 2024

環境とともに地域の経済（なりわい）・社会（人々の暮らし） をつなぐ地域循環共生圏づくりとは


ライブ配信：2025年1月27日（月）13：45～（16：15頃終了）

- ・ EPO 中部ウェブサイトから自由に YouTube 配信を視聴できます。
➡EPO 中部ウェブサイト：<http://www.epo-chubu.jp> **EPO 中部** 検索
- ・ ライブ配信終了後も、EPO 中部ウェブサイト上の限定公開でアーカイブ配信します。
- ・ 登壇者へ質問等されたい方は、ライブ配信への zoom 参加をお申し込みください。
➡下記 URL または右の QR コードから zoom へ参加登録をしてください。
【zoom 参加登録】<https://us12web.zoom.us/join/zoom/register/2M4uqqrjMpG9y8-2jq10EkgY7Rf6eD2dn>
登録すると「@zoom.us」または「@epo-chubu.jp」のアドレスから登録されたメールアドレス宛てに招待メールが届きます。



1. ごあいさつ／地域循環共生圏とは 環境省中部地方環境事務所
2. 【基調講演】 地域循環共生圏づくりにおいて大切なこと
鬼沢良子氏（NPO 持続可能な社会をつくる元気ネット・理事長）
3. 【講演 / 情報提供】 地域経済循環分析について～地域循環共生圏づくりに向けて～
佐原あきほ氏（株式会社 価値総合研究所 ポリシーエンジニアリング事業部長）
4. 【トークセッション】 “地域循環共生圏になっている”とはどういうことか？
パネリスト： 鬼沢良子氏（NPO 持続可能な社会をつくる元気ネット・理事長）
佐原あきほ氏（株式会社 価値総合研究所 ポリシーエンジニアリング事業部長）
堺勇人氏（一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事 / 事務局長）
古澤礼太氏（中部大学国際 ESD・SDGs センター 准教授）
水上聡子氏（アルマス・バイオコスモス研究所 代表）
コーディネーター：原 理史（EPO 中部）

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）



②地域循環共生圏フォーラムin上市町（第2回）

堺委員がナビゲーター登壇

地域循環共生圏フォーラム in 上市町

参加無料

みんなで描く！
つながる、めぐる、
上市町

地域も、自然も、人々も、未長く豊かでいられる
*つながり、や *めぐる、のある地域に。
上市町でもそのような地域の未来像をみんなで描きたい。
第2回フォーラムにぜひご参加ください。

[第2回] 2025年 2月22日 土
13:30~16:00
上市町まちなか交流プラザ 4階
カミールホール

第2回
発表 &
ディスカッション

富山県上市町番中町 11 <http://www.comsal.com/access/>

「つながる、めぐる、地域循環共生圏を上市で考える！」

- ごあいさつ 上市町
ハッピー上市会
環境省 中部地方環境事務所
- 事例紹介
 - ① 他地域の
実践事例 「北信スマートテロワール～自立(律)分散型の地域循環共生圏づくりの試み」
勝亦 達夫 氏 信州大学キャリア教育・サポートセンター講師
 - ② 上市で検討した
アイデア 第1回フォーラムでのワークショップ結果をご紹介します
チーム上市 (第1回フォーラム参加者より)
 - ③ 上市での
構想(案)事例 (株)ティー・ツリー・コミュニケーションズによる
地域循環共生圏につながる取組から (仮)
茶木 勝 氏 株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ代表取締役
- パネルディスカッション
「みんなで描く *つながる、*めぐる、地域循環共生圏」
ナビゲーター：堺 勇人 氏 PEC とやま常務理事 / 事務局長

参加申込フォーム
<https://forms.gle/YTBroEA69XITtwez7>

WEB [epo-chubu.jp](http://www.epo-chubu.jp)
<http://www.epo-chubu.jp>
@EPOchubu

映画「夢みる給食」の上映会も
同時開催予定です！

主催：環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)
後援：上市町 / 上市調工会
協力：ハッピー上市会
EPO中部・協議コーディネーター：株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ/一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま (PECとやま)

- 第2回の「地域循環共生圏フォーラムin上市町」を2月22日に富山県上市町で開催予定である。
- 先進事例として、環境省の地域循環共生圏事業に2019～2021年度に選定されていた、北信スマートテロワールの取組を信州大学・勝亦氏が紹介。
- 前回・第1回のワークショップで提示されたアイデア等を、前回参加者が発表・紹介したうえで、PECとやま・堺氏をナビゲーターにパネルディスカッションを実施予定である。

③協働コーディネーター意見交換会

堺委員が出席

- 8月28日に、EPO中部・協働コーディネーター6名（及び、オブザーバーとしてセブンイレブン財団2名）が出席して意見交換会を開催。
- 近況報告のほか、それぞれの地域活動の取組状況と課題を共有したうえで、地域循環共生圏づくりに取り組むうえでの地域側の課題感、中間支援の必要性、難しさ等について意見・情報交換を行うことができた。



	プログラム	時間	協働コーディネーターにお願いしたいこと
13:20～16:20頃（約180分）意見交換会			
1	自己紹介と近況報告 長野県NPOセンター・吉田さんのご紹介	40分 (3-5分×8人)	<ul style="list-style-type: none"> ● 【全員】自己紹介、活動の近況報告など ・ 配布、映写したい資料がありましたら、8/23頃までにEPOヘデータを送付願います。人数分の印刷をEPOで行います。 ・ 配布したい印刷物がある場合は、20部をご持参ください。
2	《話題提供1》中部地方環境事務所からの情報提供・共有等	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第六次環境基本計画、地域循環共生圏づくり事業の新しい枠組み など
3	《話題提供2》 協働コーディネーターから 地域循環共生圏事業、EPO連携事業の紹介	25分 (5分×5人)	<ul style="list-style-type: none"> ● 【三田村さん】地域循環共生圏事業(昨年度PF事業、今年度事業)による取組紹介 ● 【吉田さん】地域循環共生圏事業(今年度選定事業)による取組紹介 ● 【寺田さん】昨年度EPO共催・地域循環共生圏づくりフォーラム、「令和の里海づくり」モデル事業による取組の紹介 ● 【堺さん・茶木さん】地域循環共生圏「食」フォーラムの企画 など
4	《話題提供3》EPO中部から	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ EPO中部主催イベントのお知らせ、活動評価検討 など
	休憩	10分	
5	上記1～4への 質問タイム及び意見交換	80分 ※残り時間で	地域活動での課題感、地域循環共生圏づくり、中間支援団体(中間支援機能)のあり方について など
終了後、引き続き交流タイム／その間に事務局は後片付け等行い(17時施設厳守)、16:45頃には懇親会会場へ移動			

参考) 協働コーディネーター意見交換会で提示された主な意見等

地域循環共生圏づくりと中間支援

- 地域循環共生圏づくりにおける中間支援の重要性を本会合で再確認できた。中間支援主体の育成に向けた取組が必要とされている。
- 中間支援者／コーディネーターの活動は収益確保が難しく、自身も事業を展開しなくてはならないのが実情である。
- 地域づくりの中間支援は、住民の幸せ度を上げることを目指し、共感を形にする必要がある。

放置竹林の活用(※放置竹林の整備・活用等に取り組むコーディネーターが複数名いる)

- 地元産業の活性化には、地元資源の活用が重要である。
- 特に、竹は、持続可能な資源であり、プラスチックの代替品として有望であることから、竹の利用促進を図ることで、地元産業の活性化にも寄与する可能性を有しているのでは。

地域(活動)における課題等

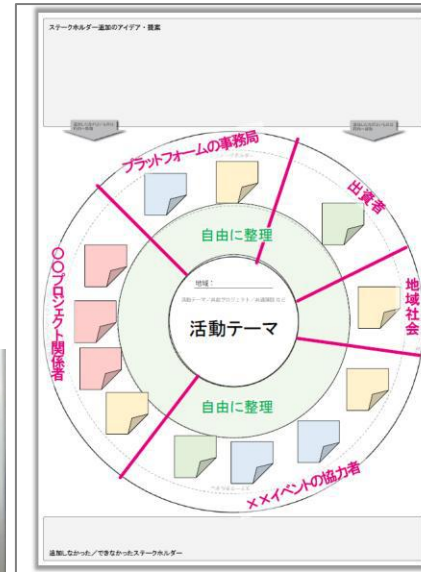
- 地域活動や環境活動においても、経済性を考慮したソーシャルビジネス化が重要となっており、その勉強会等をEPOで開催してほしい。
- 地方では、就労の場不足等の問題と共に、交通手段・二次交通の問題が地域活性化の大きな障害となっている。また、地域の少子高齢化対策には移住政策と共に、地域住民が住み続けたいと思えるような、地域の活力向上策の両展開が必要である。

そのほか

- 協働コーディネーターを新たに育成する必要がある。

⑤地域循環共生圏事業選定団体への支援：キックオフ会合開催

- 6月26日に地域循環共生圏事業に選定された3地域・6団体の19人が集い、「キックオフ・ミーティング」を実施。
- 前半に、各地域・団体の取組予定内容を発表してもらい、後半に地域ごとのグループで、ステークホルダーの紹介 & 巻き込みアイデア出しを行うワークショップを実施。



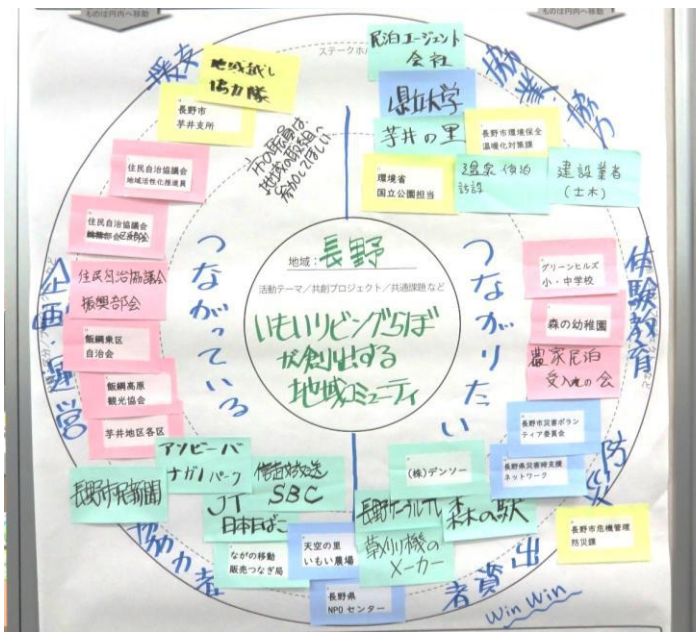
ステークホルダーの分類

■ SHの属性を付箋で色分け
ステークホルダー・シールを色分けした付箋に貼ってください。

- 企業…緑色
- 行政…黄色
- 地域/住民…桃色
- 専門家(大学等)…青色

SHをグルーピング

ステークホルダーをプロジェクトや活動の役割など、わかりやすい/作業しやすい分類で、グルーピングしてください。どういうグルーピングを行うかは、中間支援主体と活動団体で話し合ってください。



⑥地域循環共生圏事業選定団体への支援：中間共有会

- 10月23-24日に、地域循環共生圏事業の中部ブロック中間共有会を長野県長野市芋井地区で開催。3地域6団体から25名が出席。
- 3地域6団体による取組報告のほか、「誉め誉め(誉め合い)ワークショップ」を実施。
- 2日目はエクスカージョンとして、芋井地区住民自治協議会(いもいリビングらぼ)主宰の「草刈りバスターズ」体験のほか、協議会の活動関連施設等の見学・視察を実施。

Round 2 A0(ゼロ)まとめシート

	丹南	長野	半田
①【全員】持ち寄った「おみやげシート」の付箋の内容を一人ずつ発表して、付箋をA0シートの①欄に貼り付けてください。			
②【3地域参加者】自分の地域に対する「①コメント」への感想を、「②自地域へのコメント」の感想欄へ記入/付箋貼り付けしてください。	※丹南参加者の感想	※長野参加者の感想	※半田参加者の感想
③【全員】最後に、グループの皆さんから各地域へ贈る言葉を考えて、「まとめ」欄へ記入してください。			

③まとめ
グループから各地域への提案・激励・応援メッセージを

②自地域へのコメント
ディスカッションしながら新しい付箋の貼り付け・追加を

①感想・誉めポイント
集まったメンバーの「おみやげシート」から付箋を移動

①課題感
課題 お悩み



班

	丹南	長野	半田
③まとめ	おみやげシート おみやげシート おみやげシート	おみやげシート おみやげシート おみやげシート	おみやげシート おみやげシート おみやげシート
②自地域へのコメント			
①感想・誉めポイント			
①課題感			

贈る言葉は3地域それぞれでも、3地域共通・まとめてでも自由です

「おみやげシート」の付箋を貼り付け

「おみやげシート」の付箋を貼り付け



⑦全国EPO連絡会@富山開催

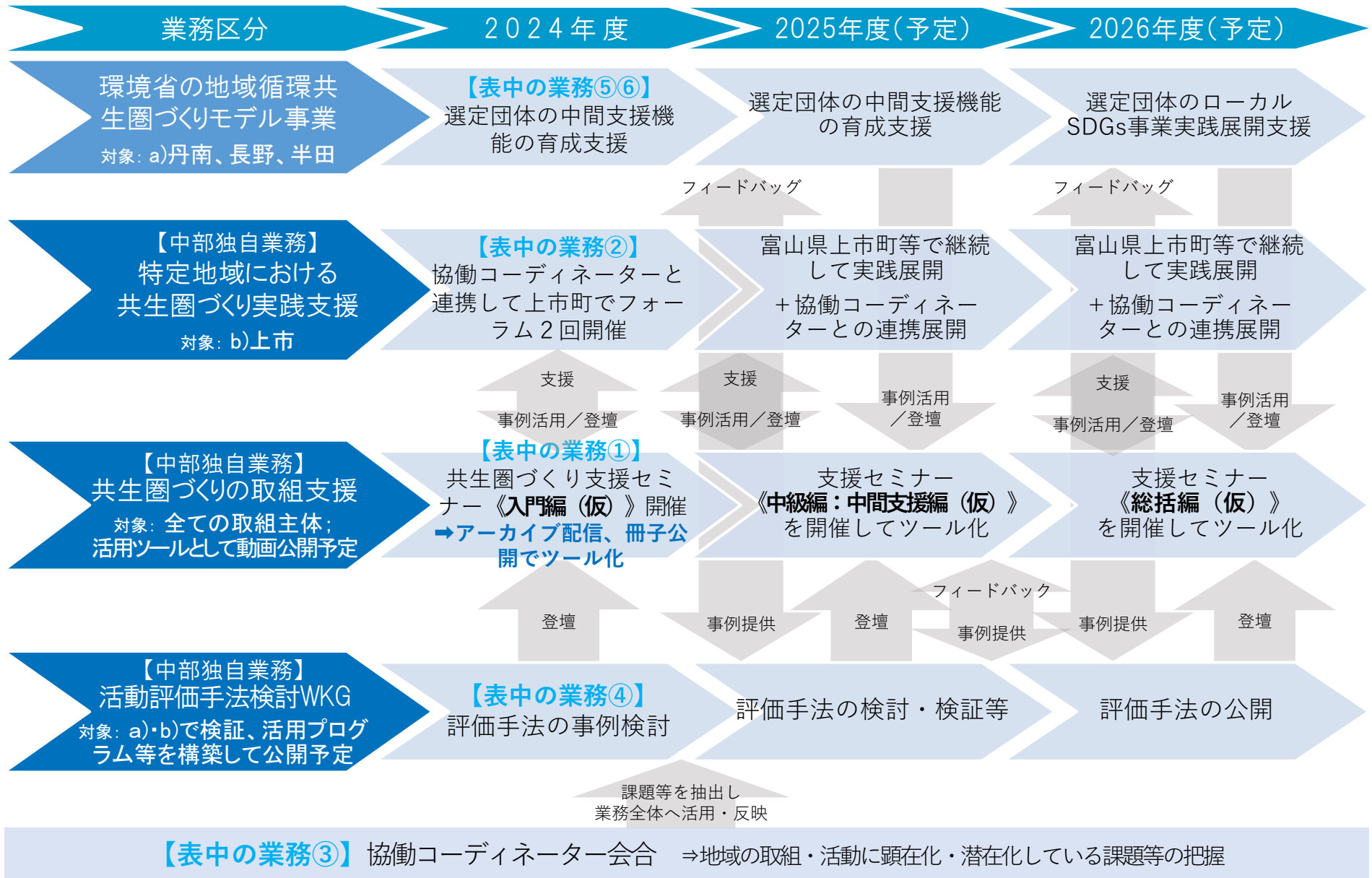
堺委員、田辺委員
が企画・実施協力

- 10月1日・2日に開催された全国EPO連絡会の地方開催が、今年では中部開催となり、富山市で開催。
- 10月2日・3日にEPO中部が視察エクスカージョンを企画することになり、運営委員・田辺氏、協働コーディネーター・堺氏、茶木氏の協力を得て、富山県上市町の食材の弁当提供、富山市内散策「ブラとやま」、南砺市の井波地区とエコビレッジ構想関係施設の見学を実施。

行程		時間・集合場所等	実施内容・訪問先等 ※一部変更の可能性あります。
10月1日 (火)	懇親会	19:00～21:00 富桜 富山駅前店	富山駅南口から徒歩約5分／富山県民会館から徒歩約5分 お店のWebサイト： https://tomisakura-toyamaekimae.owst.jp/map
10月2日 (水)	昼食	12:15～13:15 富山県民会館701号室	㈱ティー・ツリー・コミュニケーションズの未利用材活用等の取組紹介 & 富山県上市町(かみいちまち)の食材によるオリジナル弁当で昼食
	① エクスカージョン	13:30 富山県民会館701号室 集合・出発 15:30頃 富山市役所展望塔 (富山県民会館の東隣) で解散	NPOまちづくりスポットとやまによる「ブラとやま」 (2時間) 徒歩散策 【立寄りスポット】 ①富山城址、②総曲輪レガートスクエア、③平和通り、④松川と助作川(サンシップとやま、微高地の自然堤防)、⑤常夜灯、⑥富山市役所展望塔 ※⑥富山市役所展望塔で、ガイドさんによる案内後15:30頃に流れ解散の予定です。 講師…富山大都市デザイン学部 安江健一先生 案内…立山黒部ジオパーク協会、まちづくりスポット、富山市(②説明)
10月3日 (木)	② エクスカージョン	09:00 富山駅 北口駅前広場 集合・出発 (バスで移動) ※富山駅～南砺市間は、車で 片道約1時間弱 16:00頃 富山駅 着・解散	(一社)環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)による「南砺市の井波地区のまちづくり&エコビレッジ構想」視察 (約7時間)バス移動 【訪問先】※次頁に行程表あり <午前>南砺市井波地区…木彫りのまち井波の持続可能なまちづくりの視察 <午後>南砺市エコビレッジ構想の関連施設の見学 昼食:合掌ゲストハウス かずら 案内…南砺市エコビレッジ推進課、NPO法人イナミライデザイン など



EPO業務の第7期3年間での連関展開について (2024年1月時点の想定)



2024年度中部事務所企画による連携イベント／会合

※参加者数：環境省・EPO除く

区分	エリア	設営	時期	参加※	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等
⑧身近な自然資本の活用に関する意見交換会等	愛知県名古屋市	出展	10月10-12日	— (86品売上)	SDGs愛知エキスポの中部事務所出展ブースの運営(3日間)、中部事務所主催ステージ企画の協力(1日間)	<ul style="list-style-type: none"> WoWキツネザルさんによるステージイベント、自然共生サイト等生物多様性保全の取組紹介 ブース出展：生物多様性配慮商品6種(EPO仕入れ等)の販売、中部事務所提供ポスター掲示、着ぐるみ(ポジー)実施 など
	石川県野々市市	リアル	2月9日	未	自然のメッセージを伝えるインタープリテーションによる白山エリアの自然・景観遺産の活用と地域交流ツーリズム会合	<ul style="list-style-type: none"> 有識者によるインタープリテーションの概説、事例紹介 地元活動主体によるインタープリテーションの取組紹介 登壇者・関係者によるパネルディスカッション
⑨グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進業務	愛知県名古屋市	出展	11月2日	WS参加 42人	Let's エコアクション in AICHIの中部事務所ブース出展の運営	<ul style="list-style-type: none"> 協力：一般社団法人リデザインプロジェクト ブース出展：端布によるリース作成ワークショップを実施、関連作品・活動紹介パネル、資源循環関連パネルの展示 等
	三重県鳥羽市	リアル	1月15日	17人 closed	環境へのアプローチを活かした鳥羽エリア創発ミーティング「鳥羽エリアの未来を彩る私たちの環境アクションfor2050を考える」	<ul style="list-style-type: none"> 協力：鳥羽市／参加：市、商工会議所、漁業協同組合など 取組発表：22世紀奈佐の浜プロジェクト、鳥羽市のブルーカーボン(藻場再生)の取組 グループディスカッション：鳥羽エリアにおける2050に向けた環境アクションのアイデアを考える
	福井県福井市	ハイブリッド	1月29日	webex 135 会場： 確認中	地域脱炭素の実現に向けた事業者・金融機関向けセミナーin北陸	<ul style="list-style-type: none"> ※前年度に中止延期となった企画を再調整等して開催予定 主催：財務省北陸財務局、経済産業省近畿経済産業局、環境省中部地方環境事務所、EPO中部／共催：株式会社福井銀行
	中部	リアル会議	未	closed 予定	共進化会合(仮)	
⑩白書を読む会	福井県越前市	ハイブリッド	9月25日	会場 18人 webex 39	令和6年版 環境白書を読む会	<ul style="list-style-type: none"> 企画：中部地方環境事務所 白書概説…本省総合政策課等登壇 白書掲載の事例・取組の紹介…ローカルSDクリエイション登壇

⑧身近な自然資本の活用に関する意見交換会等

【SDGs愛知expoの出展ブース運営】

- 10月10-12日にかけて、愛知県常滑市で開催されたSDGs愛知expoにて、中部地方環境事務所出展ブースの運営(3日間)と、中部事務所主催ステージ企画への協力(1日間)を実施。
- ブースでは生物多様性に配慮して生産されたお米などの商品6品を展示販売。計86品を売り上げた。



↑ブースにて、自然生態系に配慮した商品を展示販売

【白山エリアの交流人口増加を考えるシンポジウムを開催】

- 2月9日に、石川県野々市市で、「白山エリアの交流人口増加を考えるシンポジウム ～白山の魅力を伝えるインタープリテーションを語る～」を開催。

白山エリアの
交流人口増加を考える
シンポジウム
～白山の魅力を伝えるインタープリテーションを語る～
2025年2月9日(日)
13:30～16:00
受付開始 13:00
会場：野々市市交遊舎
石川県野々市市二日市1丁目2-2
参加無料・定員80名(先着)
野々市市交遊舎の交通アクセス
<https://www.city.nanyo.lg.jp/eshiki/31762.html>

プログラム

- 開会挨拶 中部地方環境事務所
- はじめに 白山国立公園の魅力 藤原 秀秀 氏 白山自然史博物館
- 白山手取川ジオパークの資産 日比野 剛 氏 白山ジオパーク推進協議会
- 基調講演 インタープリテーションは何の役に立つのか 山田 栄穂子 氏 愛沢大塚総合研究センター
- 話題提供 国内のインタープリテーション事例 村上 友和 氏 株式会社自然教育研究センター
- アメリカの国立公園とインタープリテーション 増田 由香子 氏 青森大学講師
- パネルディスカッション
「インタープリテーションの白山エリアへの活用方法、課題」

参加申込み方法

参加申込、お問合せはこちらから
<https://forms.goe/VW27Gp9n9m6k4>

詳細はEPOの部のホームページへ
<http://www.epo-chubu.jp>

主催：環境省白山自然史博物館、中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)
共催：白山手取川ジオパーク推進協議会、白山ユネスコエコパーク協議会
後援(予定)：石川県、EPO、野々市市

【Let'sエコアクションinAICHIにブース出展・ワークショップを実施】

- 11月2日に、Let's エコアクションin AICHIにブース出展し、未利用繊維を用いた作品展示、端布を利用したリース制作ワークショップを実施し、42人が参加。
- SDGsのG12「つくる責任つかう責任」、サーキュラエコノミーの普及啓発を行った。



【環境へのアプローチを活かした鳥羽エリア創発ミーティング開催】

- 2023年度に続き、鳥羽市で「環境へのアプローチを活かした鳥羽エリア創発ミーティング」を1月15日に会場：鳥羽商工会議所で開催し、市環境課、企画財政課、農林水産課、観光商工課の職員・計17名が参加。
- 「鳥羽エリアの未来を彩る私たちの環境アクションfor2050を考える」をテーマに、鳥羽市及びその周辺エリアのカーボンニュートラル実現に向けて必要なアクションとは何かをグループ・ワークと共にディスカッションを実施。



【地域脱炭素の実現に向けた事業者・金融機関向けセミナーin北陸の開催】

- 昨年度に能登半島地震のため開催延期となったセミナーを改めて企画調整を行い、1月29日に開催。
- 会場となった福井銀行(本店)の協力もあり、北陸地域の金融機関・事業者・行政機関等が多数参加。(※参加人数を確認中。)

【共進化会合(仮)の開催】

- 中部共進化研究会(仮)の準備会合として「地域共進化による地域循環共生圏形成を考える対話集会」を3月7日に名古屋市内で開催。
- 主題に関わる3つの地域活動の事例紹介を行ったほか、「地域循環共生圏の形成に向けた地域活動の共進化とは」をテーマに、3人の有識者と3事例発表、及び中部地方環境事務所長でディスカッションを実施した。

地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業

地域脱炭素の実現に向けた 事業者・金融機関向けセミナー

地域脱炭素と地域課題の同時解決の実現に向けて、事業者や事業者への支援を担う金融機関を対象にしたセミナーを開催いたします。

北陸

2025年 **1月29日(水)** 13:30~16:30

プログラム

開会 ご挨拶 …… 環境省中部地方環境事務所、財務省北陸財務局福井財務事務所

第一部 施策紹介等

- 施策紹介等情報提供 …… 経済産業省近畿経済産業局
- 施策紹介等情報提供 …… 環境省中部地方環境事務所
- 施策紹介等情報提供 …… 福井県
- 施策紹介等情報提供 …… 株式会社福井銀行

第二部 取組紹介

- 地域脱炭素に向けた再エネ事業と人づくり …… 井上小水力発電株式会社
- 自社およびサプライチェーンにおける脱炭素の取組み …… 福井紙業株式会社
- 脱炭素先行地域事業における地域課題解決事例 …… 敦賀市
- 重点対策加速化事業における地域課題解決事例 …… 越前市

第三部 パネルディスカッション

テーマ「北陸における地域脱炭素の実現に向けて」

パネリスト 井上小水力発電株式会社
福井紙業株式会社
敦賀市
越前市
株式会社福井銀行
環境省中部地方環境事務所

ファシリテーター 福井県

閉会 ご挨拶 …… 環境省中部地方環境事務所

参加方法

- 会場参加
- オンライン参加も可能です。

参加申込フォームの中で選択してください。
<https://forms.gle/hqGqMASQz7VUp6>

会場参加：福井銀行本店ビル 2階ホールへ当日お越しください。
福井市順化1丁目1番1号 JR福井駅から徒歩約10分
Googleマップ： <https://maps.app.goo.gl/kpXrs1dE1ZNeq6r5>

オンライン
参加URLについては、開催日前日までにお送りします。

主 催：環境省中部地方環境事務所、経済産業省近畿経済産業局、財務省北陸財務局、
中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)、株式会社福井銀行、株式会社福井銀行
共 催：福井県

⑩環境白書を読む会の開催

- 9月25日に、「環境白書を読む会」を福井県越前市でハイブリッド開催。会場18人、オンライン39人が参加。
- 第1部は令和6年度版白書の概説を行い、第2部では、地元福井県の活動者、及び白書に掲載された取組の活動者と越前市職員が登壇し、活動紹介とパネルディスカッションを実施した。



参加無料

令和6年版

環境白書を読む会

それぞれの地域で それぞれの活動

日時 9月25日 水 18:00~20:00

会場 越前市生涯学習センター eホール 定員 50名
<https://www.city.echizen.lg.jp/info/090/070/index.html>
 または
 オンライン参加 (webex) 定員 120名

プログラム

第1部 環境本省から、白書の概要説明

- 環境白書 …… 環境省 大臣官房総合政策課 環境計画室
- 循環型社会白書 …… 環境省 環境再生・資源循環局総務課 循環型社会推進室
- 生物多様性白書 …… 環境省 自然環境局自然環境計画課 生物多様性戦略推進室
- 質疑応答

第2部 地域の団体等からの活動紹介

- 合同会社 ローカルSDクリエーション 代表 三田村 佳政 氏
- NPO法人 日本ホテル再生ねっと 理事 松田 元栄 氏
- 越前市 環境農林部環境政策課
- 意見交換：「地域での取組、個人の取組」

申込方法

***会場参加** はこちら

申込フォーム ▶

<https://forms.gly/2hAbdtdM1h1yF09x6>

***オンライン参加** はこちら

webex登録 ▶

<https://join.zoom.us/j/9620cb41fab8c4a2039e01179ab>

*@webex.com または @epo-chubu.jp のアドレスから登録されたメールアドレス宛に招待メールが自動送信されます。

主催：環境省中部地方環境事務所 / 共催：越前市

独自プログラムの作成・活用

有識者によるワーキンググループにより、地域循環共生圏づくりの活動の評価手法を検討する

古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長

水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表

堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）事務局長

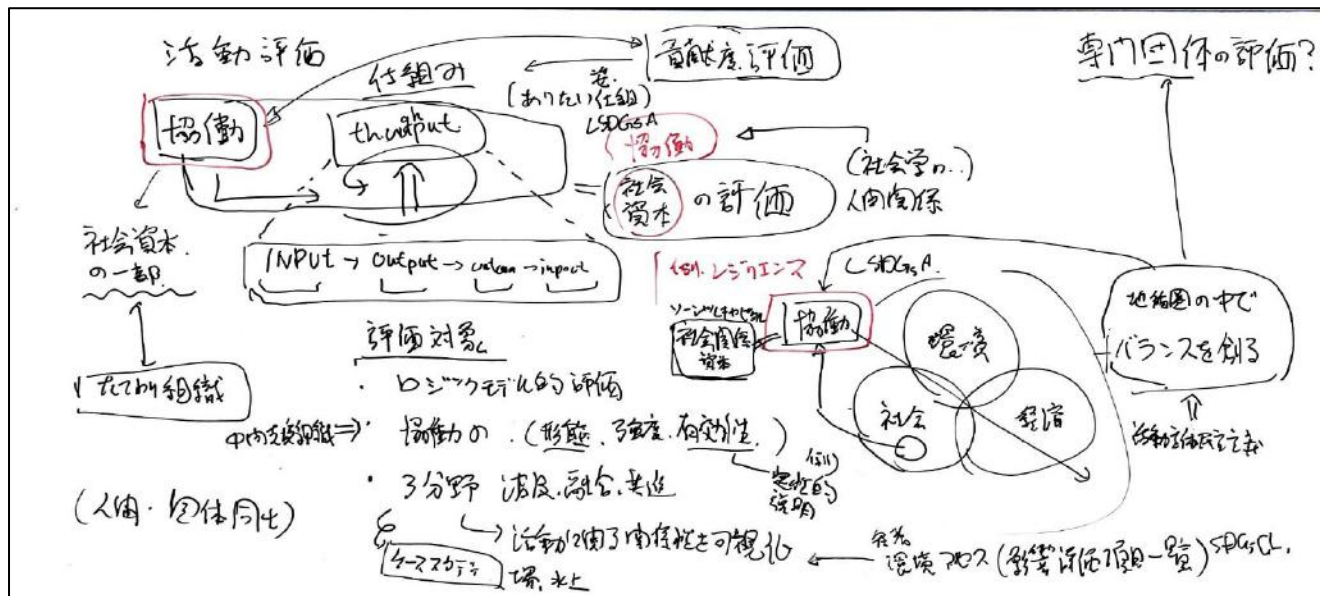
原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員

【オブザーバー】 環境省 中部地方環境事務所環境対策課

【事務局】 清本三郎 中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部） 統括

富山	6月5日	第1回検討会
名古屋	9月18日	第2回検討会
福井	11月12日	第3回検討会

検討会での議論の例

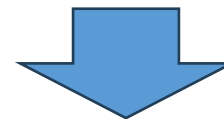


ローカルSDGs活動を念頭に置いた三つの評価方法 達成度評価・貢献度評価・成長度評価

分類	内容
達成度評価	<u>目標をどれだけ達成できたかを評価する。</u> すなわち活動のアウトプット目標を具体的に設定し、それに対してどの程度達成できたかを評価する。
貢献度評価	<u>ありたい姿にどれだけ貢献できたかを評価する。</u> すなわち目標をありたい社会(ここでは地域循環共生圏)への貢献に置き、どのように貢献しているかを評価する。
成長度評価	<u>取組がどれだけ成長, 発展できたかを評価する。</u> すなわち活動の成長を目標とし、成果の拡大や活動主体および関係者との協働連携が成長したかを評価する。

分類	実践
達成度評価	<u>KPIなど、事業評価でよく使われている</u>
貢献度評価	<u>定性的な文章で記述されることが多い?</u>
成長度評価	<u>トレンドを見て言及がある?</u>

ローカルSDGs活動において達成度評価の実践はある
(地球環境基金や地域循環共生圏プラットフォーム事業など)



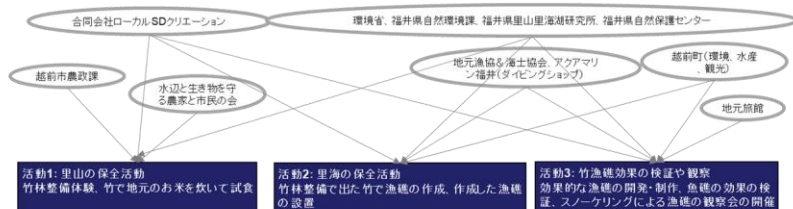
貢献度評価・成長度評価についても
より実践を考える必要があるのではないか

分類	内容	活動見える化プログラム	SDGs指標物語	選定指標
達成度評価	目標をどれだけ達成できたかを評価する。	-	-	目標を定めた場合は、達成状況を定量的に評価
貢献度評価	ありたい姿にどれだけ貢献できたかを評価する。	活動内容が社会、経済、環境のどの分野か、SDGsのどのゴールに貢献しているかを可視化して定性的に評価	選定指標がSDGsのどのグローバル指標、ターゲット、ゴールに貢献しているかを可視化して定性的に評価	貢献しているグローバル指標、ターゲット、ゴールにおける成果を定量的に評価【事例2】
成長度評価	取組がどれだけ成長、発展できたかを評価する。	協働ネットワークが現状どのようになっているかを可視化、複数の時点を比較して変化を示すことで成長度を定性的に評価【事例1】	-	複数の時点を比較して変化を示すことで成長度を定量的に評価【事例2】

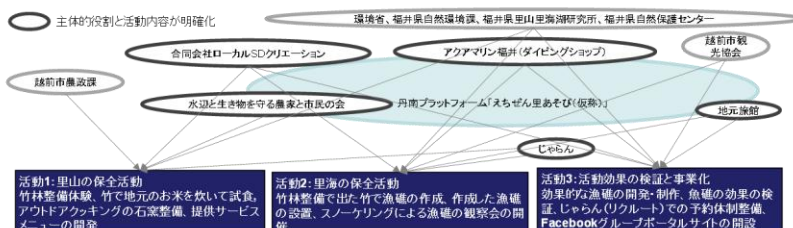
事例1: 活動見える化プログラムによる協働状況の変化

定性的な成長度評価

【2022年3月時点のもくろみ】思い描いていた段階であり、具体的な役割は明確ではなかった。



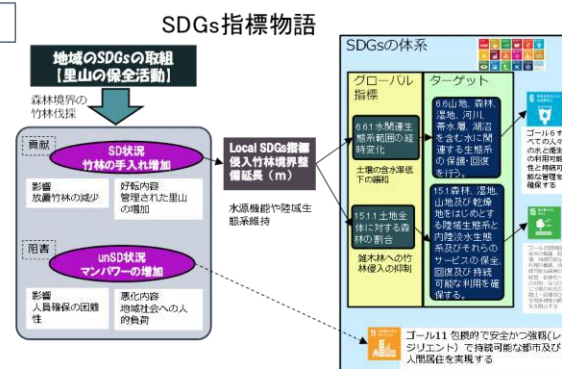
【2024年2月時点の状況】当所に比べ、誰が何をするのかがはっきりし、活動内容が充実化、明確化してきている。丹南プラットフォーム「えちぜん里遊び(仮称)」のビジョンが共有され各々の活動主体が連携しながら具体的な活動に取組む状況となってきた。



事例2: 選定指標とSDGs指標物語

定量的な貢献度評価、成長度評価

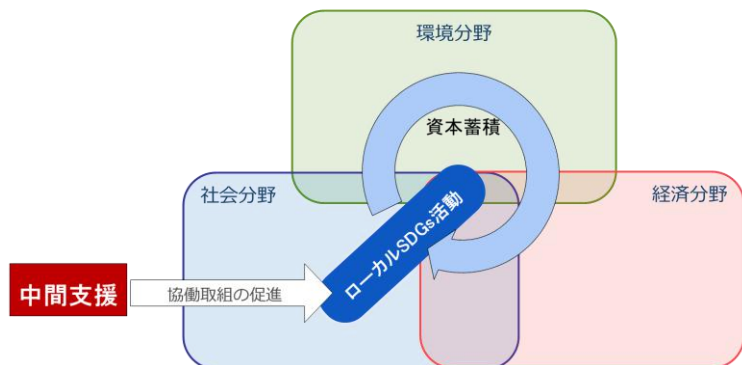
選定指標
侵入竹林境界整備延長(m)



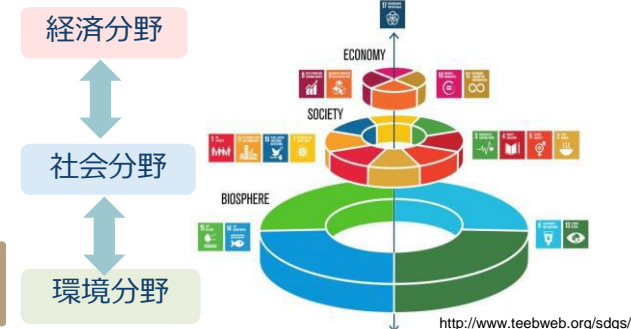
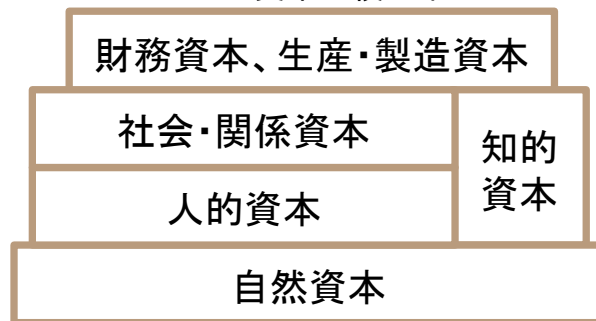
選定指標	侵入竹林境界整備延長 (m)
指標	6.6.1、15.1.1
ターゲット	6.6、15.1
ゴール	G6、G15
基準2022年3月	0m
評価2024年2月	総延長120m

価値基準：ローカルSDGs活動の効果が環境，社会，経済の各分野に波及し，それにより，環境，社会，経済のそれぞれに関わる分野の資本が蓄積されること

- 地域循環共生圏における中間支援
協働取組を通じて社会、環境、経済に関わる資本を蓄積させる



- 崩れない資本のバランスが持続可能性と強靱性にとって重要
六つの資本の積み木



- その取組は地域循環共生圏に貢献する資本増加に繋がるのか、チェックリストの考え方

六つの資本	評価項目の例
1 財務資本 (地域循環 財務資本) 地域内での経済循環になっているか	● 地域にお金を落とす ● 地域への投資
2 製造資本 (地域循環 生産・製造資本) 地域資源・エネルギーが持続可能な形で使えるようになっているか	● 地産地消 ● 資源循環 ● 再生可能エネルギー ● 防災・減災
3 知的資本 (地域共生 知的資本) : 地域の文化、知恵などが生かされているのか、水準の高い知見が用いられているか	● 教育 ● 住民自治 ● 伝統的文化・知恵 ● 高等知見 ● ICT活用
4 人的資本 (地域共生 人的資本) : 地域の多様な人々が共生できているか	● 主体的・意欲的な人 ● 愛着・誇り・責任感のある人 ● 包摂社会
5 社会関係資本 (地域共生 社会関係資本) : 地域の繋がり・コミュニティづくりにつながっているか	● 対話型の議論・交流 ● 相互信頼 ● 公正 ● 共助
6 自然資本 (地域循環共生 自然資本) : 地域の自然・生物多様性が守られているか	● 生物多様性 ● グリーンインフラ・景観の向上 ● 脱炭素 ● 自然資源 ● 農地・漁場の持続可能な利用

その他

外部資金を活用した事業

地球環境基金／全国ユース環境活動発表大会の支援

※ (独)環境保全機構との連携業務 <https://www.erca.go.jp/>

- 次年度の地球環境基金(助成金)公募の説明会を10月18日に開催。
- 12月22日開催・全国ユース環境活動発表大会に出席して情報収集等実施。※中部からは「長野県下伊那農業高等学校」「愛知県立猿投農林高等学校」が全国大会へ進出。

愛知県環境学習コーディネート業務

※ 愛知県からの受託業務

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html>

- 環境学習に関する学校等からの相談・照会依頼に対し、相談業務5件、コーディネート業務10件を実施。

2025年度 地球環境基金 助成金説明会 IN 中部



2025年度
制度が大きく変わります!

日時 10月18日(金)
19:00~20:30・オンライン

中部地域以外の方もご参加いただけます。
地球環境基金Webページから動画を事前視聴のうえ
ご参加ください。

個別
相談会

19:00~

第1部 セミナーと地域の活動事例紹介

①テーマ別セミナー
「ローカルSDGs活動の評価について考える」
講師：原 理史 氏 (中部大学中部高等学術研究所)

②中部地域における助成先団体の活動事例紹介
[2024年度つづける助成(継続3年目)]
「SDGsをテーマとした探究型学習プログラムの
開発と実践・普及活動」
講師：伊藤 弘晃 氏 (教育旅行ふくい)

19:50~

第2部 地球環境基金助成金の募集について

①地球環境基金助成金について
…新募助成メニューの募集について説明します。

②要望書の書き方講座
…書き方のポイントについて説明します。

③質疑応答
…申込時に受け付けた質問にお答えします。

日程 10月2日(水)・10日(木)・18日(金)・
23日(水)・31日(木)・11月6日(水)・
7日(木)・8日(金)

時間 午前の部▶10:00~12:00
午後の部▶14:00~16:00
夜間の部▶18:00~20:00

申込 地球環境基金Webページ内
個別相談会申込フォームから

締切 各開催日の2営業日前まで

個別相談会の問合せ
独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金部
TEL: 044-520-9505
E-mail: kikin_youbou@erca.go.jp

助成金説明会の申込み&問合せ

詳細&説明会申込は [こちら](#)



申込締切: 10月16日(水)

EPO連携助成金説明会を全国8地域で開催します。各地域の開催
日程・参加申込は、地球環境基金Webページをご覧ください。

環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)
TEL: 052-218-8605 (電話による申込は受け付けておりません)

主催: 独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部
協力: 環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)



そのほか連携・協力依頼等への対応（相談対応からの展開）

アサヒ飲料(株)中部北陸支社主催「SDGs将来世代創造フォーラム」に出展

- 8月21日に開催された「SDGs将来世代創造フォーラム」にEPO中部がブース出展。
- 一昨年度から協力している私立高校のインターンシップ・プログラムで高校1年生4人のインターン生がブース出展を手伝いつつ、学生達出展ブース巡りをしてもらい、取材・感想記事原稿を作成していただいた。
- インターン生作成の取材記事は、ウェブサイトで公開中。

➤ <https://www.epo-chubu.jp/epo-news/25415.html>

